

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	高木建設株式会社					
代表者名	氏名	高木亜矢子		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野市安茂里小市一丁目3番31号					
主たる事業の分類	大分類	D 建設業				
	中分類	0 6 総合工事業				
主たる事業の概要	住宅・古民家・店舗の各種リフォーム、公共建築・土木工事等					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	13.48	12.40	12.98		
エレガ-起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	28.66		27.99		
調整後排出量	t-CO <sub>2</sub>	28.66	26.37	27.99		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台	75		77		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.takagi-kk.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

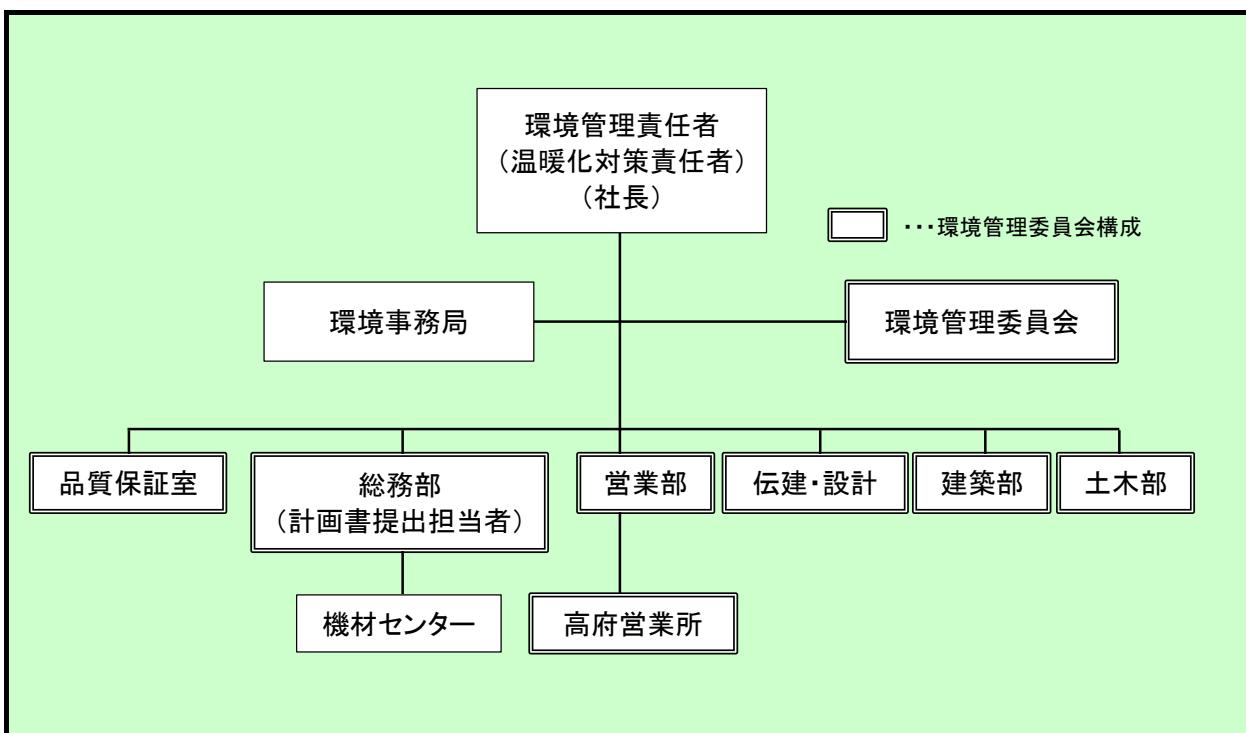
#### 4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

『自然にやさしく、人にやさしく！』をスローガンとして、自然環境やそこで暮らしている人々に十分な配慮をし、影響する負荷を最小限に抑えるために努力を継続してまいります。社は「信頼・貢献・挑戦」を推進する基本要件は、「品質・安全・そして環境」と位置づけます。この三つの要件に共通する対応姿勢として、生産活動における無理・無駄をなくし、省資源・省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減）・再利用形の原材料、資材、工法の提案をして、事業の実施に努めます。SDGs及びプラスチックスマート運動に対応するために当社の事業以外についても日々「気付きの精神」をもって活動いたします。

##### 2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	C02排出量30%削減（2018年度比）
削減計画の概要	エコアクション21の活動に沿って省エネ・省資源、CO <sub>2</sub> 削減に努める。					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

#### 5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

環境管理委員会 年2回開催

様式1号

## 6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		
目標 年 度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2023 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2024 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2025 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量(t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	空調機	設定温度、湿度の適正化	2023～2025	0.95	2023	0.28
2	エネ起	照明設備	照明機器及びランプの適正な選択	2023～2025	1.34	2023	0.39
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	3	0	3		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力) うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定) うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO <sub>2</sub> /年					
県が認証したクレジット (森林CO <sub>2</sub> 吸収評価認証制度等)	t-CO <sub>2</sub> /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	4	基準年度と同程度	4		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電) うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号  
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kL以上								
1,500kL以上 3,000kL未満								
1,500kL未満	3	28.66	3	27.99				
合計	3	28.66	3	27.99				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計				

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	1	1	0	0
自動車総数	75	77		
次世代自動車導入割合	1.3	1.3		

様式1号  
(総括票)

14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	社員に呼び掛けを行なっている。
自転車の利用促進	現在近い人は徒歩・自転車で通勤しており、引き続き呼びかけ・促進を行う。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	特になし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	特になし
物流の合理化	特になし

15 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
■ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
■ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2009
	名称 エコアクション21		
□ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
□ ZEB	の認証を取得している		
□ ディマンド・リスポンス (DR)	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		
■ その他	ながのエコ・サークル「ゴールドランク」、「信州プラスチックスマート運動」登録事業者		2010、2019

16 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

エコアクション21のガイドラインに基づき以下の点に取り組んでいます。
・電力、ガソリン・軽油・灯油の削減
・紙資源のリサイクル、可燃ごみの削減
・産業廃棄物のリサイクル率向上
・水使用量の削減
・環境に配慮した低化学物質建材 (F☆☆☆☆) の利用
・再生資材の利用促進
・省エネルギー・省資源型製品を利用した設計、環境負荷の少ない工法に努める
・古民家の再生利用（古材の再利用等）
・耕作放棄地対策